

『第三者評価に参加して～事業者からのコメント～』

家庭的保育事業 久門 晶子

当園は、平成27年に認可を受け、今年度で10年目を迎えました。

今回、第三者評価を受ける機会をいただき、これまで取り組んできた保育内容や運営の在り方を客観的に見つめ直す良い機会となりました。

参加するにあたり、私たちが大切にしたい保育とは何かを改めて考え、様々な角度から自己評価を行い、職員間で語り合いを深めていく中で、改善に向けてのポイントの理解や職員の意識向上にも繋げることができました。

「どうしたら」から「こうしていけば」を気付かせていただけたと感じております。

評価では、子ども主体の保育の実現に向けた取り組みや、保護者、地域、各関係機関との良好な関係づくり、職員が協力しながら保育に取り組む体制など、多くの点で肯定的な評価をいただきました。これは、日ごろから子どもたちを中心に捉え、職員が一丸となって取り組んできた結果であり、大きな励みとなりました。

これからも、当園は地域に開かれた保育園を目指します。

子どもたちと一緒に季節の移り変わりを感じ、自然と触れ合いながら、地域の皆さんと日常的に交流を深めていきます。

「子どものきもち見える化」「保育を見る化」を継続し、保護者の思いに寄り添い、家庭的な温もりのある雰囲気の中で、子どもたちが、自分らしくのびのびと生活できる場所であり続けていけるよう、日々努力していきたいと思います。

最後になりましたが、委員の先生方、こども施設企画課の皆様、最後まで丁寧なご指導とご対応をしていただきありがとうございました。